

家訓

商家では社是 各家には家訓があったり
 何れもつづいた所は家訓がしつかりして
 ときく

我が家の家訓としてありたいの
 知う有りてこゝ迄来たの
 昔 勤当という言葉がつかわれり
 卓上しかうれろと思つたり
 本当は

除籍さふることを知りた
 が何人かいたが
 本当に勤当すべからず昔の
 今も有りて
 重きていて
 いと思つたが
 命が守る有りて
 右の
 我が子をいじめた
 のどい世のゆに
 なる
 だ

山家訓どころで有り

不忠を殺すやせめて といろくは必要に

あつ 二) 一入をさいていふと 何れとすべ

人を殺すようだ

大人をう活しやいといろくが虫垂るひの

あろうか そんなら二一入をさいてうと

二二はどこ 七) と一二月本

瞬か二二と物どとが変化する

かとうがやがばりした

取が子をキヤ山と真似と習うる

といろ家訓をかかふる